

農林水産施設

1. 農 業 体 験 施 設
2. 漁 村 セ ン タ ー
3. 漁 港
4. 交 流 広 場

農 林 水 産 施 設

1. 農業体験施設

- (1) 名 称 函館市亀尾ふれあいの里
- (2) 設置目的
市民に園芸作物の栽培と収穫等を通じて農業に親しむ場を提供し、もって農村地域の活性化と健康的でゆとりのある市民生活の実現に資するため整備した。
- (3) 所在地 函館市米原町126番地3ほか
- (4) 敷 地 地域農業者所有の遊休農地等を借上
敷地面積 31,403.36㎡ (整備面積 31,398㎡)
※敷地全域を市民農園整備促進法に基づく市民農園区域に指定
- (5) 施設概要
○市民農園80区画 (25㎡/区画)
○体験農園 ・通常ほ場 1,260㎡×4, 250㎡×1
・体験水田 900㎡×4
○果樹園 2,662㎡×1
○その他施設 ビオトープ1箇所, 多目的広場 (2,000㎡), 駐車場162台分, 水飲み場1箇所, ベンチ10基, 四阿1棟, 管理棟1棟, トイレ1棟, 農機具倉庫1棟ほか
- (6) 建設費 (単位: 円)

	事業費	財 源 内 訳		
		(道) 農村交流推進事業費補助金 (元気な地域づくり交付金(やすらぎ空間整備))	地方債	一般財源
用地測量	5,880,000			5,880,000
基本設計	1,932,000			1,932,000
実施設計	5,670,000	2,835,000		2,835,000
工事費	55,335,000	22,817,000	32,500,000	18,000
初度調弁費	145,950			145,950
合 計	68,962,950	25,652,000	32,500,000	10,810,950

- (7) 指定管理者 一般財団法人北海道国際交流センター
(指定期間: 令和3年4月1日～令和8年3月31日)
- (8) 開園期間 4月20日～11月10日
- (9) 開園時間 市民農園 日の出～日没
(市民農園を除く施設 午前9時～午後5時)
- (10) 利用料金 (令和7年度)

区 分		利 用 料 金			
		単 位	条例に規定する上限額	令和7年度利用料金	
市民農園	専用使用	1区画1年度につき	5,000円	5,000円	
体験農園	播種から収穫までの一連の農業体験	1年度1人1作物につき	大人	400円	400円
			小人	200円	200円
	収穫体験	1人1回につき	大人	800円	600円
			小人	400円	300円
果樹園	収穫体験	1人1回につき	大人	400円	400円
			小人	200円	200円

※市の区域内に居住する小人または市の区域内の学校に在学する小中学生で市の区域外に居住するものが、一連体験を利用する場合は無料
※一連体験, 収穫体験の利用料金につき, 函館市が発行する障がい手帳 (療養手帳含む) 提示の場合, 障がい者本人と介添人一人につき, それぞれ半額

※一連体験，収穫体験の利用料金につき，無料対象者を除いた合計が20名以上の団体利用の場合，1割の減免

(11) 使用実績

区 分		令和6年度
市民農園	専用使用	4,334人
体験農園	播種から収穫までの一連の農業体験	3,631人
	収穫体験	524人
果樹園	収穫体験	38人

2. 漁村センター

- (1) 名 称 函館市漁村センター
- (2) 設 置 目 的 漁民の生活改善および生産活動の向上に資するため研修会・各種
会合・サークル活動等広く利用できる施設として、昭和55年3月
函館市が沿岸漁業構造改善事業により設置した。
- (3) 所 在 地 函館市志海苔町269番地 TEL 58-3992
- (4) 施 設 規 模
敷地面積 917 m²
構 造 鉄筋コンクリート2階一部鉄骨平家建
建物面積 1階 409 m²
2階 200 m² 合計 609 m²
- (5) 建 設 費

(単位：円)

事業費・財源 費用	事業費	国庫補助金	地方債	一般財源
用地費	26,033,446			
移転補償費, 測量費	11,222,200			
本工事費	90,820,000			
初度調弁費, その他	3,508,347			
合計	131,583,993	39,250,000	80,600,000	11,733,993

- (6) 指定管理者 函館市漁業協同組合(指定期間：令和6年4月1日～令和9年3月31日)
- (7) 開館時間 午前10時～午後9時
- (8) 休館日 月曜日, 国民の祝日(国民の祝日が月曜日にあたる時は, その翌日),
その前日および翌日が国民の祝日である日, 1月2日, 1月3日および
12月29日から12月31日
- (9) 使用料 市内に住所を有する漁民およびその家族が使用する場合は無料。その
他市長が特に認めた者が使用する場合は次のとおり。

使用場	午前10時 ～正午	正午 ～午後5時	午後5時 ～午後9時
集会室	1,000円	2,500円	3,000円
漁業研修室	400円	1,000円	1,200円
老人室	200円	500円	600円
調理実習室	500円	1,200円	1,400円

暖房を使用したときは, 実費を徴収する。

(10) 利用実績

月		4		5		6		7		8		9		10		
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
利用実績	5年度	集会室	10	865	3	55	5	86	3	53	3	43	4	52	3	51
		研修室	3	21	7	99	1	17	3	36	1	16	2	26	-	-
		老人室	7	19	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		調理実習室	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		計	20	905	12	169	6	103	6	89	4	59	6	78	3	51
	6年度	集会室	3	57	3	44	4	56	3	38	1	18	2	40	7	459
		研修室	2	25	5	70	1	16	2	38	1	17	1	17	1	10
		老人室	2	10	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7
		調理実習室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	7	92	9	127	5	72	5	76	2	35	3	57	11	476

月		11		12		1		2		3		計		
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
利用実績	5年度	集会室	3	54	1	20	1	15	2	47	3	39	41	1380
		研修室	1	20	1	6	-	-	2	17	3	39	24	297
		老人室	-	-	1	8	-	-	-	-	3	25	12	57
		調理実習室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
		計	4	74	3	34	1	15	4	64	9	103	78	1,744
	6年度	集会室	3	51	1	19	0	0	4	67	4	68	35	917
		研修室	1	19	1	17	1	5	2	4	3	45	21	283
		老人室	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	7	33
		調理実習室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	4	70	2	36	1	5	6	71	8	116	63	1,233

※件数・人数ともに延べ数

3. 漁港

函館市内の漁港一覧

地区	漁港名	漁港種類	指定年月日	所在地
函館地区	函館漁港	第3種	昭和26年6月29日	入舟町
	住吉漁港	第1種	昭和38年7月18日	青柳町
	函館湯川漁港	第1種	平成9年4月10日	湯川町1丁目
	志海苔漁港	第1種	昭和26年6月29日	志海苔町
	志海苔(銭亀地区)漁港		昭和57年10月8日	新湊町
	石崎(銭亀沢)漁港	第1種	昭和27年10月6日	石崎町
戸井地区	小安漁港	第1種	昭和52年3月31日	小安町
	釜谷(戸井)漁港	第1種	昭和26年10月17日	釜谷町
	汐首漁港	第1種	昭和48年3月27日	汐首町
	戸井漁港	第2種	昭和26年6月29日	浜町
恵山地区	日浦漁港	第1種	昭和43年3月30日	日浦町
	大潤漁港	第2種	昭和26年6月29日	大潤町
	女那川漁港	第1種	昭和29年7月12日	女那川町
	山背泊漁港	第4種	昭和26年6月29日	古武井町
	恵山漁港	第1種	昭和29年7月12日	御崎町
南茅部地区	古部漁港	第1種	昭和41年12月16日	古部町
	木直漁港	第1種	昭和26年10月17日	木直町
	尾札部(黒鷲岬地区)漁港	第2種	平成5年2月23日	尾札部町
	尾札部漁港		昭和26年6月29日	尾札部町
	川汲漁港	第1種	昭和27年10月6日	川汲町
	川汲(安浦地区)漁港		昭和63年2月13日	安浦町
	臼尻漁港	第3種	昭和26年6月29日	臼尻町
	大舟漁港	第1種	昭和27年10月6日	大船町
	大舟(美呂泊地区)漁港		昭和62年3月25日	双見町
大舟(望路地区)漁港	平成20年9月24日		岩戸町	
計		20港(分区5港)		

※漁港指定後未整備のものは除く。

漁港数の比較

(単位:港)

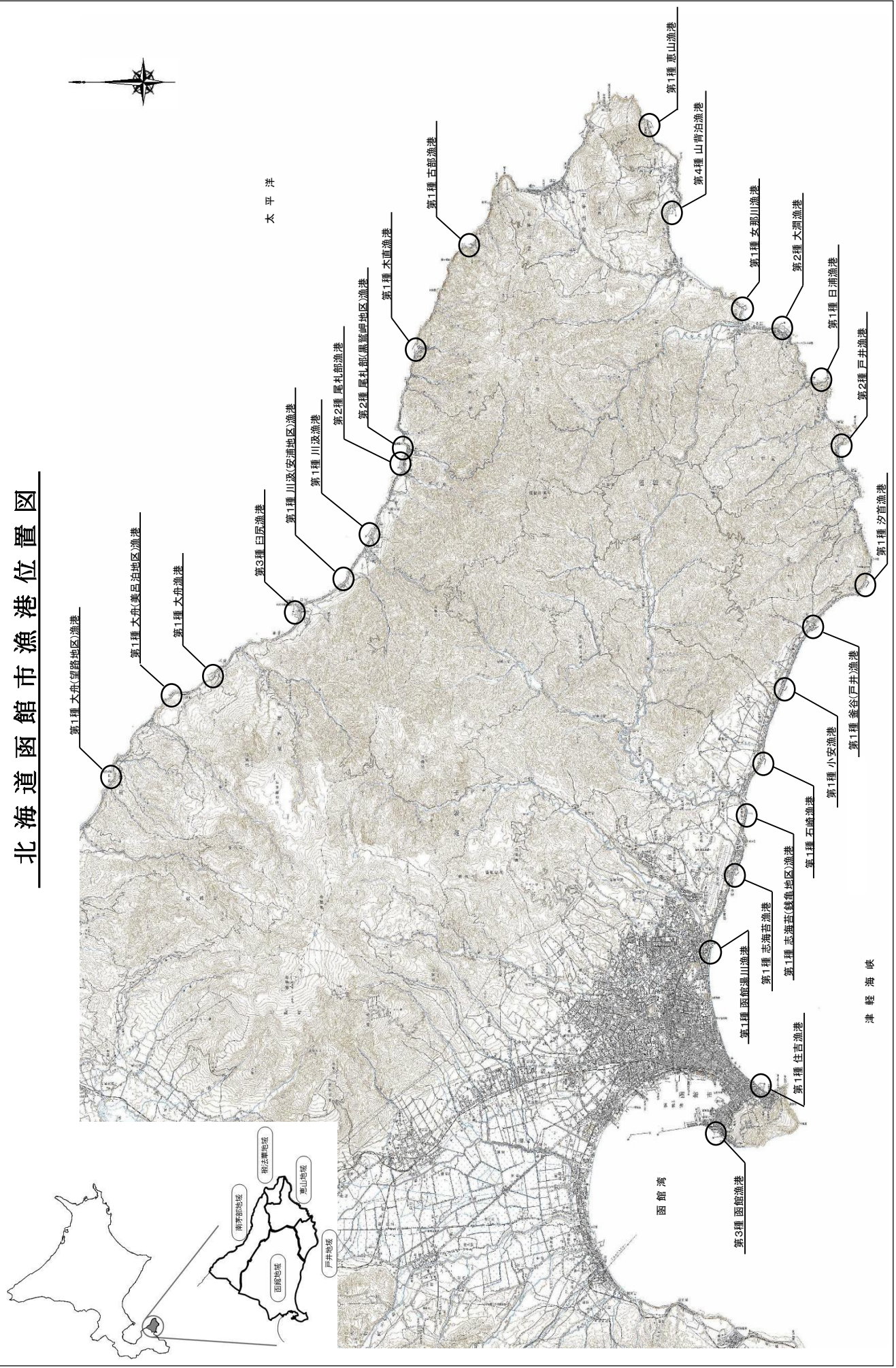
漁港種類	全国	北海道	函館市
第1種	2,035	165	14
第2種	524	38	3
第3種	114	18	2
第4種	99	20	1
計	2,772	241	20

資料:水産庁 令和7年4月1日現在

漁港の種類について

第1種漁港	その利用範囲が地元の漁業を主とするもの
第2種漁港	その利用範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属しないもの
第3種漁港	その利用範囲が全国的なもの
第4種漁港	離島その他辺地にあつて漁場の開発又は漁船の避難上特に必要なもの

北海道函館市漁港位置図



4. 交流広場

(1) 名 称 函館湯川漁港交流広場

(2) 設 置 目 的

漁業に対する市民および観光客の理解と関心を深め、ならびに海や漁業に親しむ場と憩いの場を市民および観光客に提供し、もって市民の福祉の増進と観光の振興に資するため、函館市が漁港環境整備事業により整備した。

(3) 所 在 地 函館市湯川町1丁目1番の一部および2番の一部

(4) 施 設 概 要 広場 1,547.60 m², 駐車場 36 台分, 四阿 1 棟, ベンチ 2 基, 照明 4 基, トイレ 1 棟, 植栽 (樹木, 芝生) ほか

(5) 建 設 費

(単位: 円)

事業費・財源 費用	事業費	道補助金	地方債	一般財源
設計・調査費	4,473,000	2,236,500	2,000,000	236,500
工事費	70,413,000	35,206,500	31,700,000	3,506,500
事務費	1,600,000		1,300,000	300,000
合計	76,486,000	37,443,000	35,000,000	4,043,000

(6) 管 理 者 函館市

(7) 供 用 期 間 通年 ※ただし、トイレは冬期間閉鎖 (12月1日~3月31日)

(8) 供 用 時 間 常時